

新温泉

浜坂高校(新温泉町芦屋)の2年生2人が、県新温泉土木事務所で見学した。成果

発表として、同事務所がホームページなどで定期配信する「浜坂道路ニュース」の特別号を生徒が発行。今月末に浜坂地域の約3100世帯に配布するという。(末吉佳希)

橋や道路工事現場で学ぶ

浜坂高生、県土木事務所で見学体験



山陰近畿自動車道の「浜坂第2トンネル(仮称)」を見学する浜坂高生たち。新温泉町内(県新温泉土木事務所提供)

高校生の職業観や主体性の醸成、異世代間のコミュニケーション能力の育成を目的に同校が実施。町内の

「道路ニュース」編集も手がける



「浜坂道路ニュース」の特別号の製作風景。新温泉町芦屋

最終日は、山陰近畿自動車道の工事現場に臨んだ。同町板谷の新温泉浜坂インターチェンジ近くで工事が進む全長2・8キロの「浜坂第2トンネル(仮称)」に潜入し、発破用の火薬を掘削面に詰める作業や工事用のさまざまな機械にカメラを向けたり、メモを取った。

太さん(16)と堀江成士郎さん(16)が参加した。体験は計3日間の日程で実施した。初日は樋門や橋の架け替え事業を見学した後、倉庫に保管する水防資材の点検などに挑戦。2日目は冬場の除雪作業の全体像を学んだほか、砂防ダムや湯村温泉街で親水施設として整備されている春來川などを視察した。堀江さんは「河川や橋の点検など生活に身近な作業の大切さを再認識した」。土木関係の仕事に就きたいという中村さんは「職員さんが言っていた『土木工事は地図に残る仕事』という言葉が胸に響き、将来の志望が強まった」と笑顔で話を紹介する。